

令和6年8月8日16時43分頃、日向灘の地震(M7.1)について

地震の概要

検知時刻 <small>(最初に地震を検知した時刻)</small>	8月8日16時43分
発生時刻 <small>(地震が発生した時刻)</small>	8月8日16時42分頃
マグニチュード	7.1(速報値)
発生場所	日向灘(宮崎の東南東30km付近) 深さ約 30km
震度	【最大震度6弱】宮崎県の日南市(にちなんし)で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強~1を観測
地震活動の状況08日17時15分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震の発生なし
長周期地震動の観測状況	宮崎県南部山沿いで長周期地震動階級3を観測

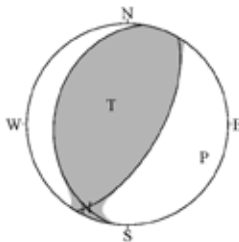
気象庁のwebページより <https://www.jma.go.jp/jma/press/2408/08b/kaisetsu202408081745.pdf>

発震機構解

西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

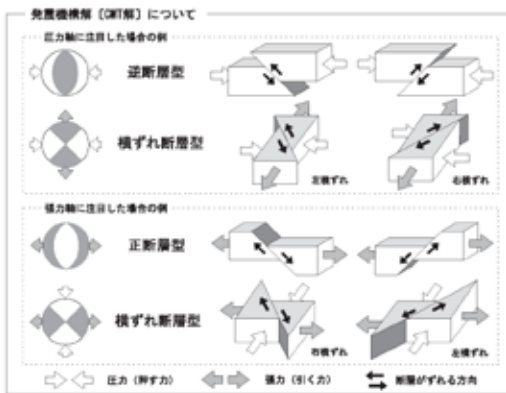
[CMT解]

Mw=7.0



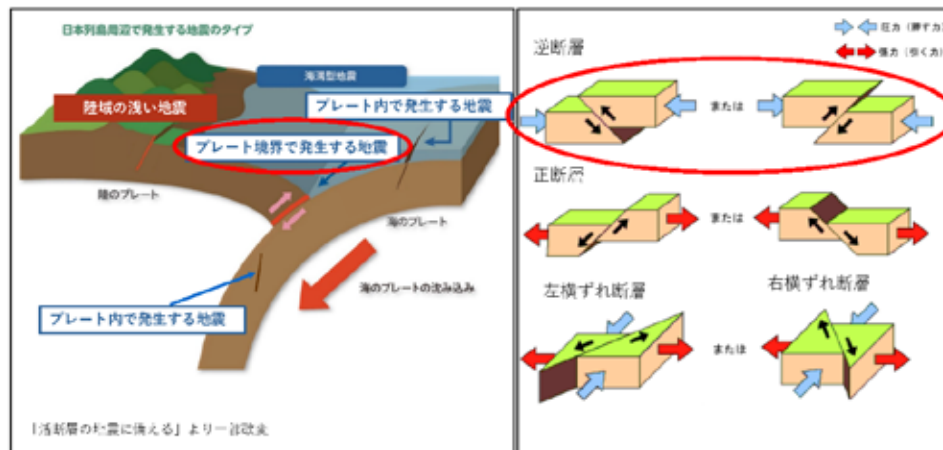
下半球等積投影法で描画
P: 圧力軸の方向
T: 張力軸の方向

セントロイドの位置
北緯 31度35分
東経 131度43分
深さ 約35km
※セントロイドの位置とは、地震の新層運動を1点で代表させた場合の位置。

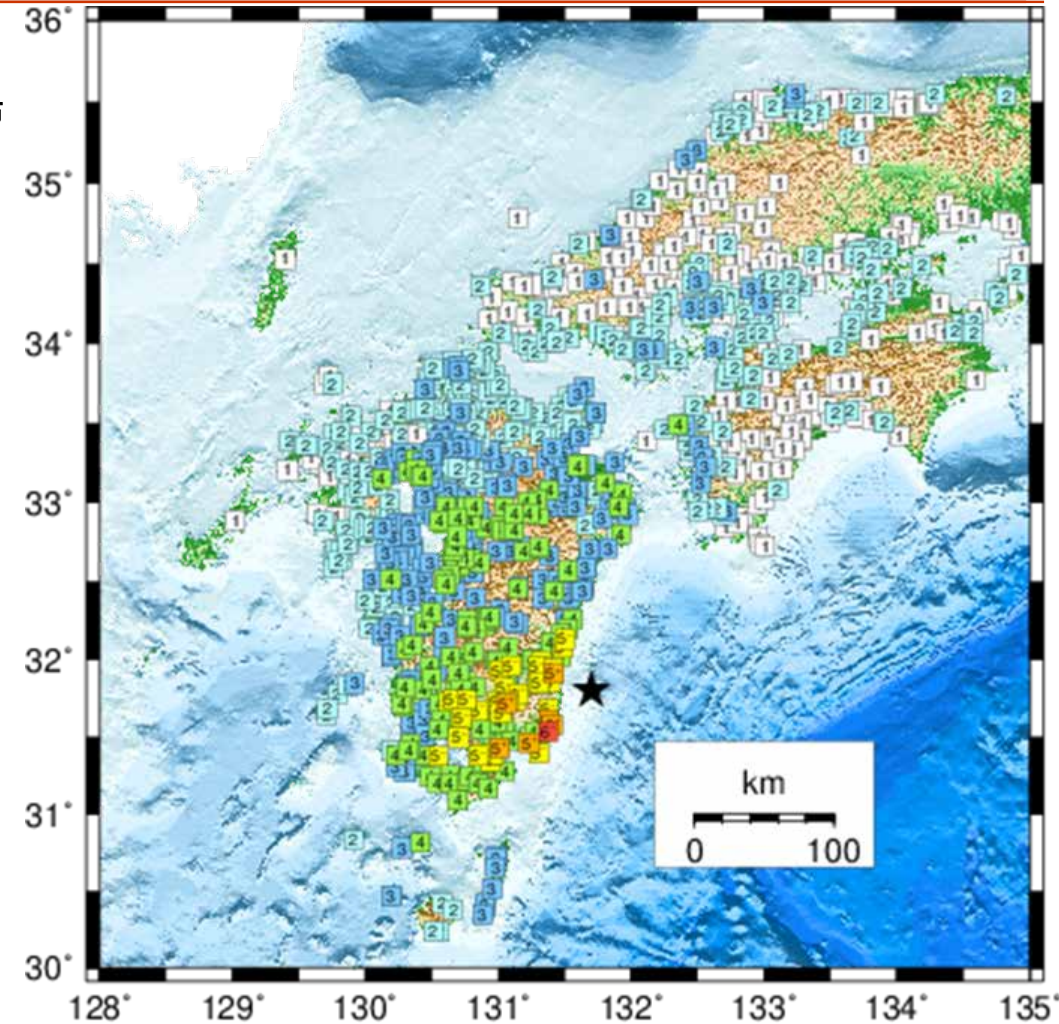


地震の発生メカニズム

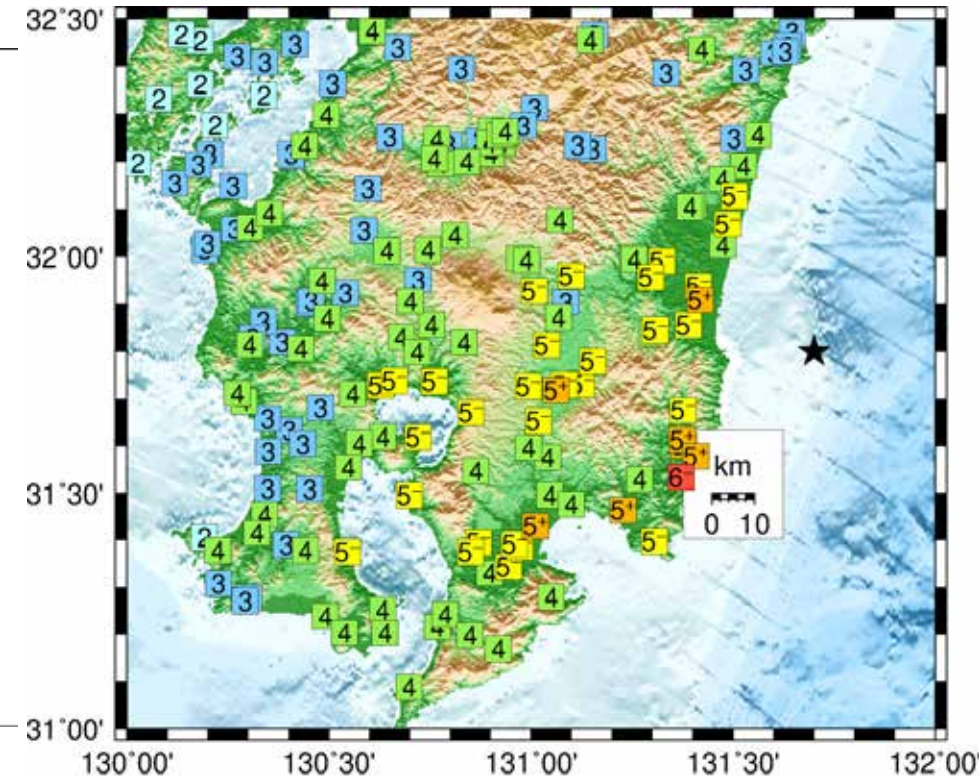
今回の地震は、陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生した、逆断層型の地震



震度分布



JMA	NIED	震度
7	7	7
6+	6+	6強
6-	6-	6弱
5+	5+	5強
5	5	5弱
4	4	4
3	3	3
2	2	2
1	1	1



気象庁のwebページより https://www.jma.go.jp/jma/press/2408/08e/NT_202408081945sv.pdf

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）について

本日（8日）19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。その内容について別添のとおりお知らせいたします。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表

南海トラフ地震の想定震源域では、**新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっています**と考えられます

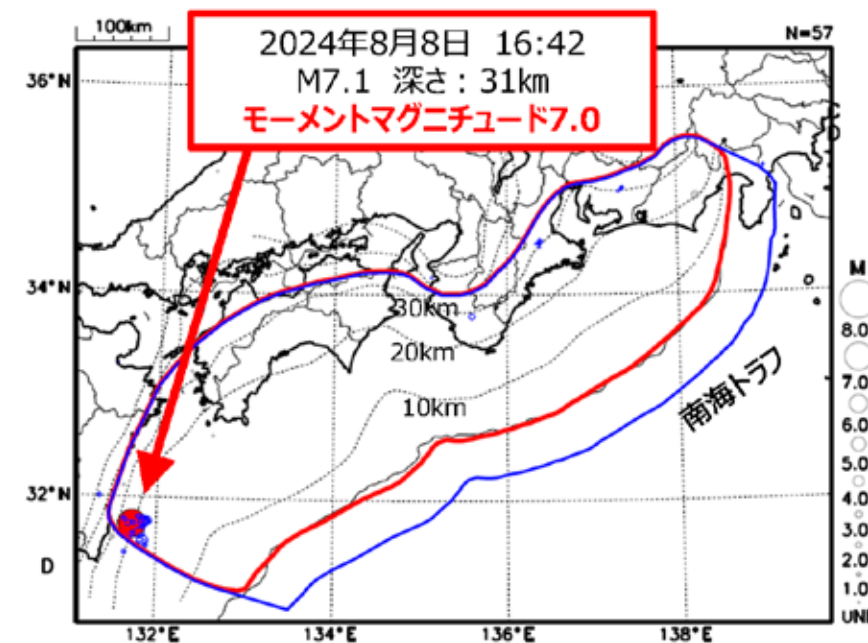
今後、もし大規模地震が発生すると、**強い揺れや高い津波を生じると考えられます**

※新たな大規模地震が発生する可能性は平常時と比べると高まっていますが、特定の期間中に大規模地震が**必ず発生するということをお知らせするものではありません**

政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください

※モーメントマグニチュードは、震源断層のずれの規模を精査して得られるもので、地震発生直後に地震波の最大振幅から計算し津波警報等や地震情報の発表に用いるマグニチュードとは異なります。

今回の地震の発生場所



- ・赤線は想定震源域、青線は南海トラフ地震臨時情報発表に係る地震活動の監視領域
- ・黒点線は、フィリピン海プレート上面の深さ

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)

** 見出し **

本日(8日)16時43分頃に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。この地震と南海トラフ地震との関連性について検討した結果、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられます。今後の政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください。

** 本文 **

本日(8日)16時43分頃に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。その後の地震活動は活発な状態が続いています。また、ひずみ観測点では、この地震に伴うステップ状の変化が観測されています。

気象庁では、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を臨時に開催し、この地震と南海トラフ地震との関連性について検討しました。

この地震は、西北西・東南東方向に圧力軸をもつ逆断層型で、南海トラフ地震の想定震源域内における陸のプレートとフィリピン海プレートの境界の一部がずれ動いたことにより発生したモーメントマグニチュード7.0の地震と評価されました。

過去の世界の大規模地震の統計データでは、1904年から2014年に発生したモーメントマグニチュード7.0以上の地震1,437事例のうち、その後同じ領域でモーメントマグニチュード8クラス以上の地震が発生した事例は、最初の地震の発生から7日以内に6事例であり、その後の発生頻度は時間とともに減少します。このデータには、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(モーメントマグニチュード9.0)が発生した2日前に、モーメントマグニチュード7クラスの地震が発生していた事例が含まれます。世界の事例ではモーメントマグニチュード7.0以上の地震発生後に同じ領域で、モーメントマグニチュード8クラス以上の地震が7日以内に発生する頻度は数百回に1回程度となります。

これらのことから、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられます。

南海トラフ地震には多様性があり、大規模地震が発生した場合の震源域は、今回の地震の周辺だけにとどまる場合もあれば、南海トラフ全域に及ぶ場合も考えられます。

最大規模の地震が発生した場合、関東地方から九州地方にかけての広い範囲で強い揺れが、また、関東地方から沖縄地方にかけての太平洋沿岸で高い津波が想定されています。

今後の政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください。

気象庁では、引き続き注意深く南海トラフ沿いの地殻活動の推移を監視します。

※モーメントマグニチュードは、震源断層のずれの規模を精査して得られるマグニチュードです。気象庁が地震情報等で、お知らせしているマグニチュードとは異なる値になる場合があります。

※評価検討会は、従来の東海地域を対象とした地震防災対策強化地域判定会と一体となって検討を行っています。

** 次回発表予定 **

今後は、「南海トラフ地震関連解説情報」で地殻活動の状況等を発表します。

** (参考) 南海トラフ地震に関連する情報の種類 **

【南海トラフ地震臨時情報】

情報発表条件:

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

情報名に付記するキーワード:

- 「調査中」 下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合
 - ・監視領域内※1でマグニチュード6.8以上の地震※2が発生
 - ・1カ所以上のひずみ計での有意な変化と共に、他の複数の観測点でもそれに関係すると思われる変化が観測され、想定震源域内のプレート境界で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測
 - ・その他、想定震源域内のプレート境界の固着状態の変化を示す可能性のある現象が観測される等、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測
 - 「巨大地震警戒」 想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価した場合
 - 「巨大地震注意」
 - ・監視領域内※1において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震※2が発生したと評価した場合(巨大地震警戒に該当する場合は除く)
 - ・想定震源域内のプレート境界において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合
 - 「調査終了」 (巨大地震警戒)、(巨大地震注意)のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合
- ※1 南海トラフの想定震源域及び想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲
※2 太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く

【南海トラフ地震関連解説情報】

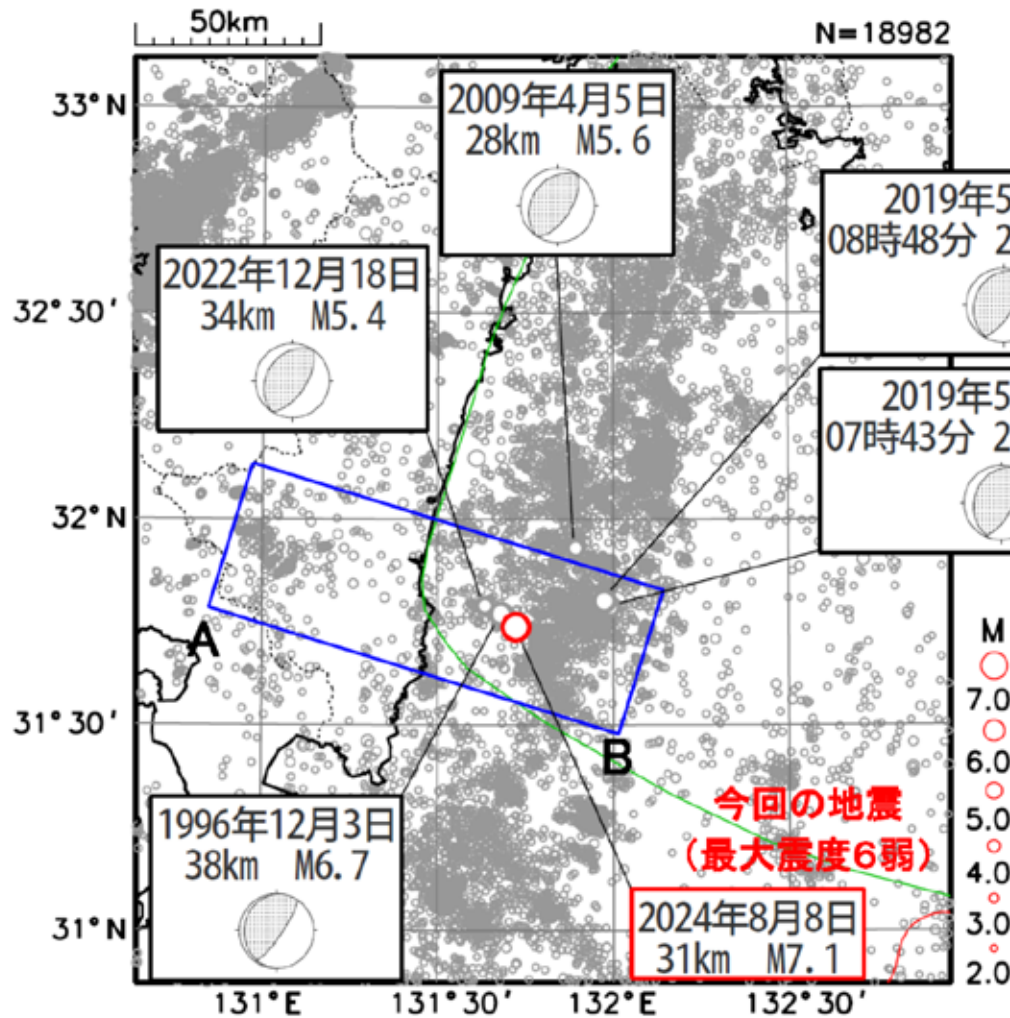
情報発表条件:

- 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
 - 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合(ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く)
- ※すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります。

令和6年8月8日 日向灘の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

(1994年10月1日～2024年8月8日16時44分、
深さ0～100km、M2.0以上)

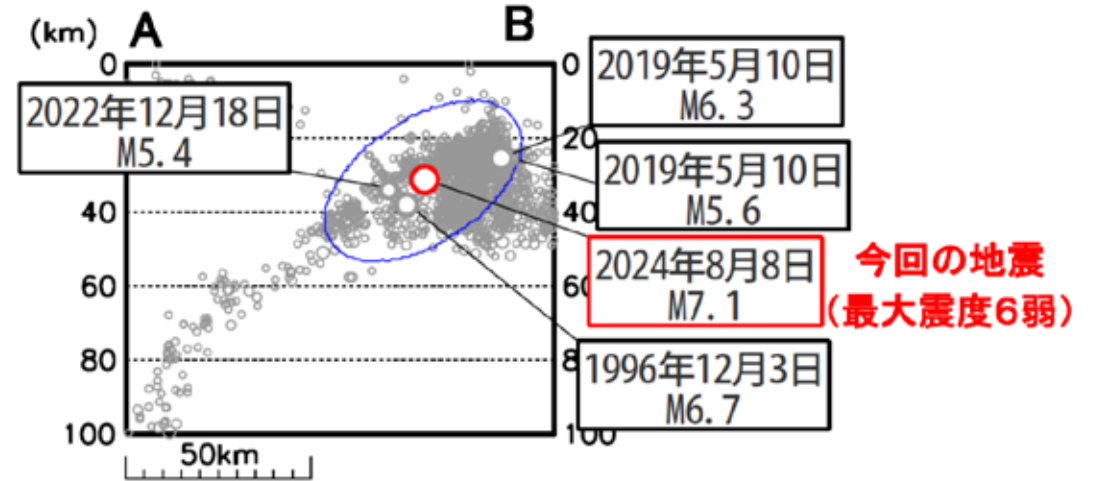


丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

2024年8月8日以降の地震を赤く表示

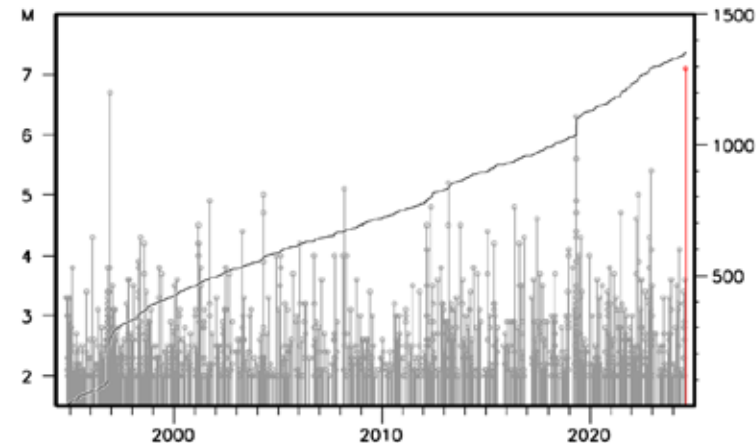
緑色実線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を表す

左図の四角形領域内のA-B断面図



縦軸は深さを表し、丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

上図の楕円領域内の地震活動経過
および回数積算図



横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

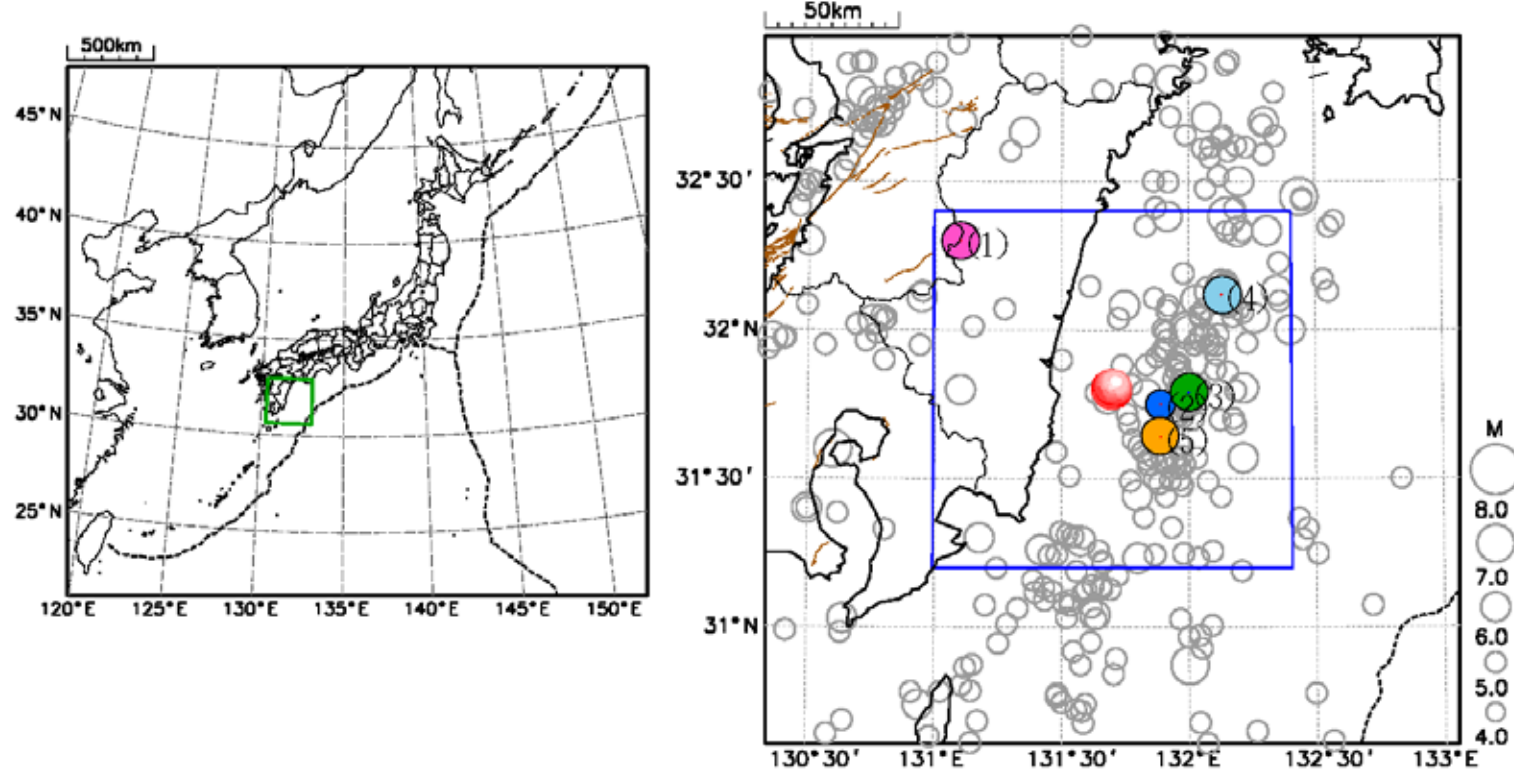
気象庁作成

今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

M ≥ 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km
今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2024 08 08 16:47



- 震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- 震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。
- 1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津 (1982, 1985) 及び茅野・宇津 (2001) による。

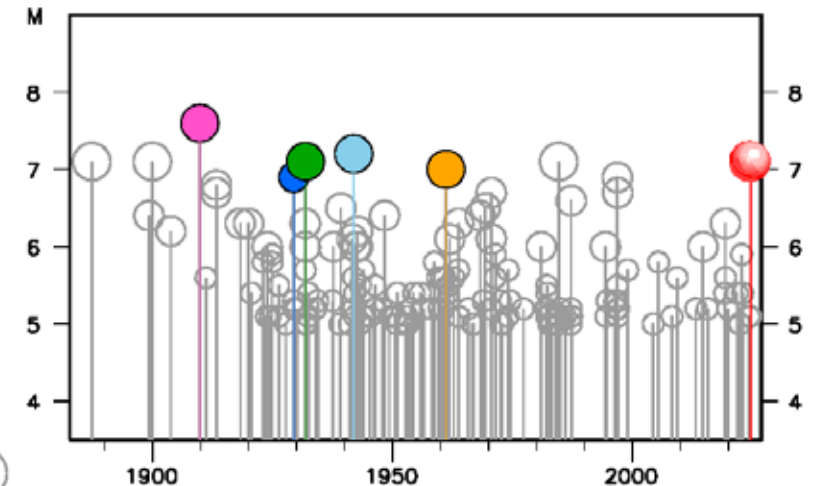
<地震の名称について>

- 気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。
- 上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。
- 地震の名称の後ろの□は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、□内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

<資料の利用上の注意点>

- 今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。
- 過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。
- 過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（※）が異なる場合がある。
※検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。
この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。
一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃：(1), 青：(2), 緑：(3), 水：(4), 黄：(5)

(1) 1909年11月10日 M:7.6 宮崎県北部山沿い

(2) 1929年5月22日 M:6.9 日向灘

(3) 1931年11月2日 M:7.1 日向灘

(4) 1941年11月19日 M:7.2 日向灘

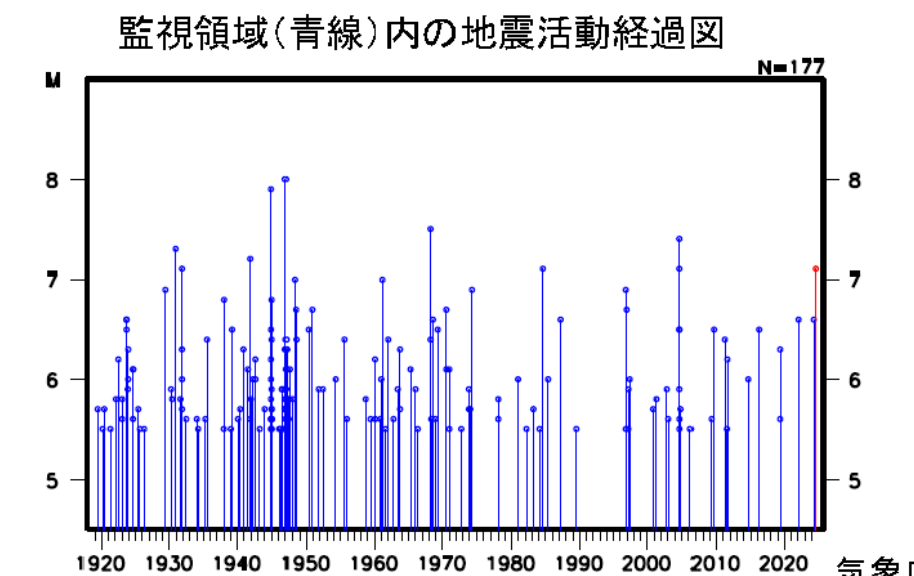
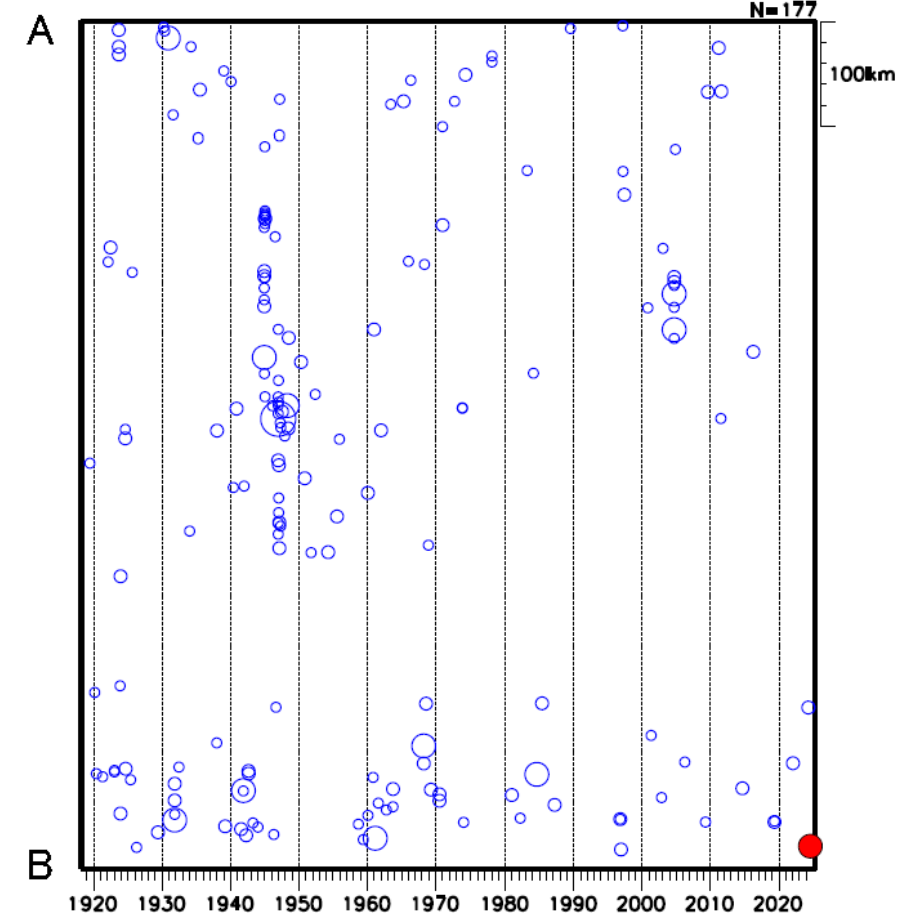
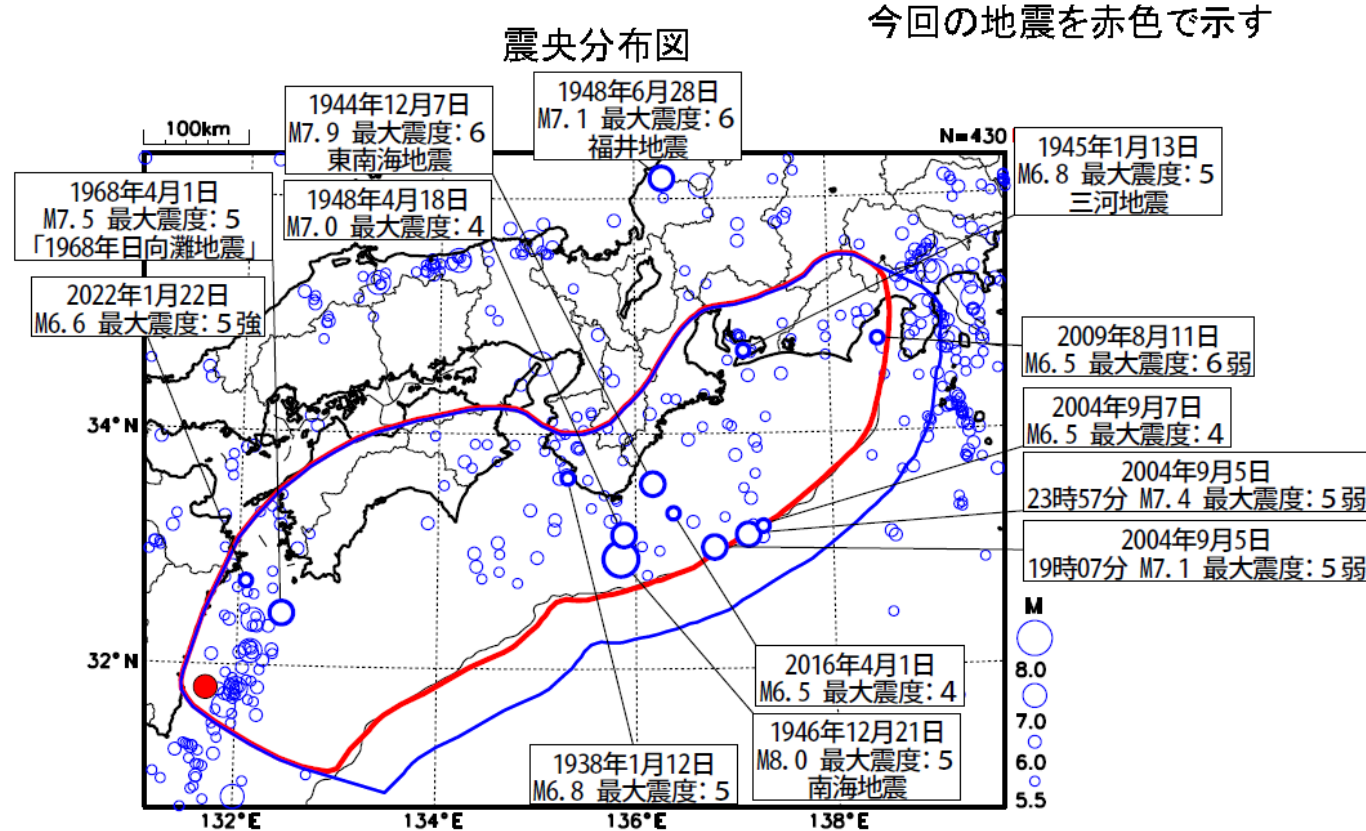
(5) 1961年2月27日 M:7.0 日向灘

気象庁作成

南海トラフ沿いの過去の地震活動 (1919年以降)

1919年01月01日～2024年08月08日16時44分、
深さ0～100km、M5.5以上

監視領域(青線)内の時空間分布図(A-B投影)



赤線は想定震源域、青線は南海トラフ地震臨時情報発表に係る地震活動の監視領域

[図の説明]

- 表示している震源は速報値を含む
- 丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す

(震央分布図)

- 以下の地震に吹き出しを付けた
- 1999年以前
 - 想定震源域(日向灘を除く)で発生したM6.8以上の地震
 - 想定震源域(日向灘)で発生したM7.5以上の地震
 - 図中で1946年南海地震から3年以内に発生したM7.0以上の地震
- 2000年以前
 - 想定震源域で発生したM6.5以上の地震

(時空間分布図)

- 横軸は時間、縦軸は上図のA-Bの範囲を示す
- 発生した時刻にマグニチュードの大きさに対応した丸を示す

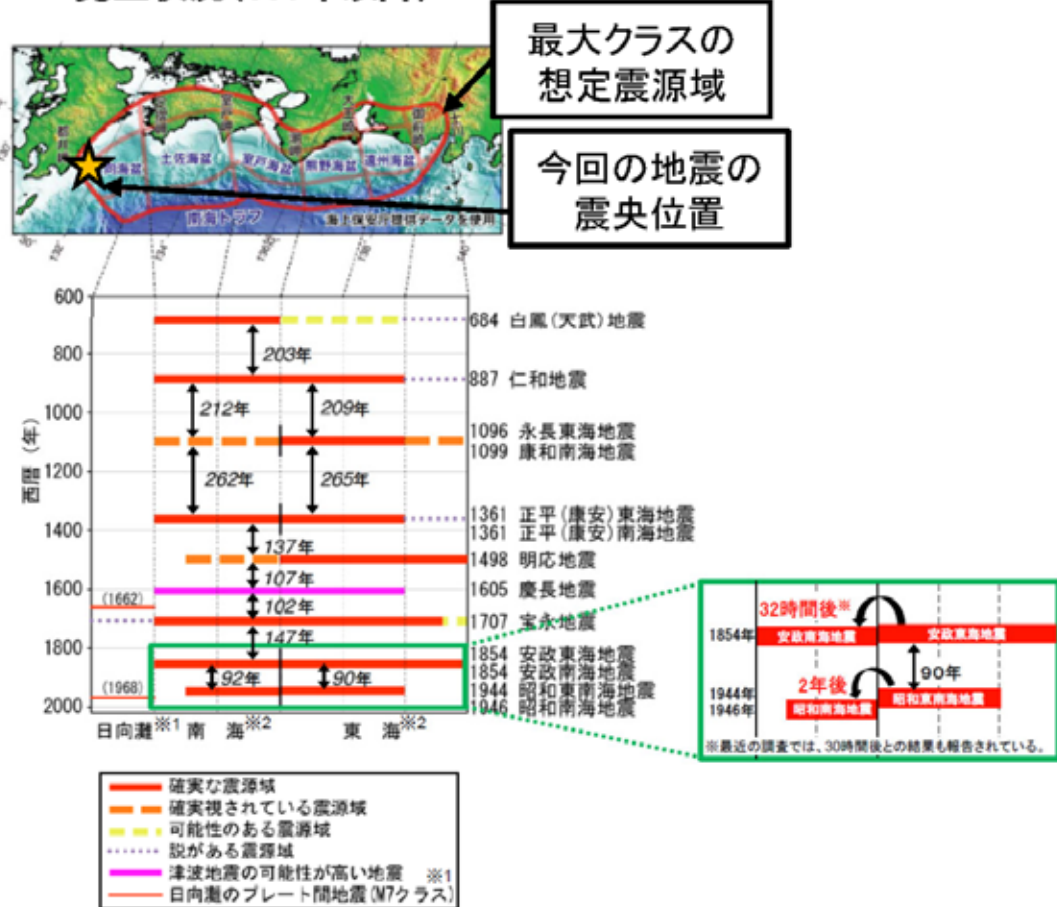
(地震活動経過図)

- 横軸は時間、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す

気象庁作成

南海トラフ 周辺で想定されている海溝型地震 (参考資料)

●想定される最大規模クラスの地震の震源域・過去の発生状況(600年以降)



※1「日向灘のプレート間地震(M7クラス)」として、現在知られているこの海域での最大規模の地震(『地震活動総説』(宇津, 1999)では、1662年の地震がM7.6、1968年の地震がM7.5)を記載しています。

※2 東海～南海には、現在知られている大規模地震(『地震活動総説』(宇津, 1999)では、正平(康安)東海地震以降の地震はいずれもM7.9以上)を記載しています。

※3 海溝型地震における今後30年以内の地震発生確率が26%以上を「Ⅲランク」、3%～26%未満を「Ⅱランク」、3%未満を「Ⅰランク」、不明(すぐに地震が起きることを否定できない)を「Xランク」と表記しています。ランクに「*」を付記している場合は、地震後経過率が0.7以上を表します。

※本資料は以下を基に作成しました。

「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)」(地震調査研究推進本部)
https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/nankai_2.pdf

「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」(地震調査研究推進本部)
<https://www.jishin.go.jp/main/choukihyoka/ichiran.pdf>

「南海トラフ沿いの大規模地震の予測可能性について・別添資料」(内閣府)
https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/tyosabukai_wg/pdf/h290825betten.pdf

「防災対応のための南海トラフ沿いの異常な現象に関する評価基準検討部会とりまとめ・別冊」(内閣府)
https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taio_wg/pdf/h301225bessatsu_02.pdf

●海溝型地震の長期評価

領域または地震名	想定される規模	ランク ※3
南海トラフ	M8～9クラス	Ⅲ * ランク

●周辺で想定されている海溝型地震

○今回の地震の震源周辺では、南海トラフで発生する大規模地震が想定されています。

●海域で発生した規模の大きな地震後に見られた地震活動の例

○過去には、2008年の茨城県沖の地震のように、大きな地震の発生後、より大きな地震が発生し、当初の活動域が広がった例もあります。しかし、2004年の釧路沖の地震のように、より大きな地震は発生せず、地震活動域が広がらなかった例もあります。

●南海トラフで発生する大規模地震

○南海トラフでは過去繰り返し大規模な地震が発生しています。正平(康安)地震(1361年)以降、南海トラフで起きた6回の大規模地震の平均発生間隔は117年です。しかし、実際に発生した地震の発生間隔は約90年から約150年とばらついています。過去には最短で約90年の間隔で大規模地震が発生した例があります。

○昭和の東南海・南海地震(1944年・1946年)の発生から約80年が経過しており、次の大規模地震発生切迫性が高まっていると言えます。

●過去に南海トラフで発生した巨大地震の地震の規模

地震名称	地震本部による	内閣府による
宝永地震		8.9
安政東海地震		8.6
安政南海地震		8.7
昭和東南海地震	8.1～8.2	8.2
昭和南海地震	8.2～8.5	8.4

注)地震の規模はモーメントマグニチュード(Mw)

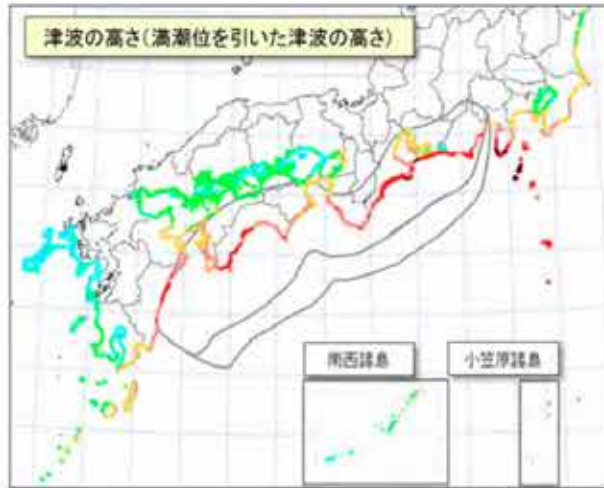
気象庁作成

周辺で想定されている海溝型地震 南海トラフの巨大地震で想定される最大クラスの津波高・震度分布

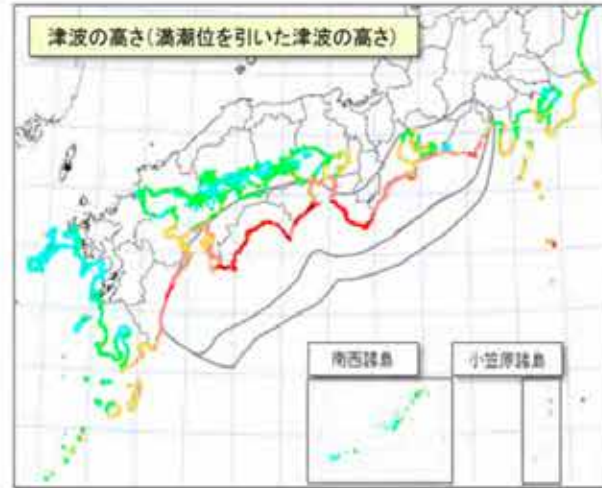
(参考資料)

●想定される津波高 (被害想定が実施された4ケースを例示)

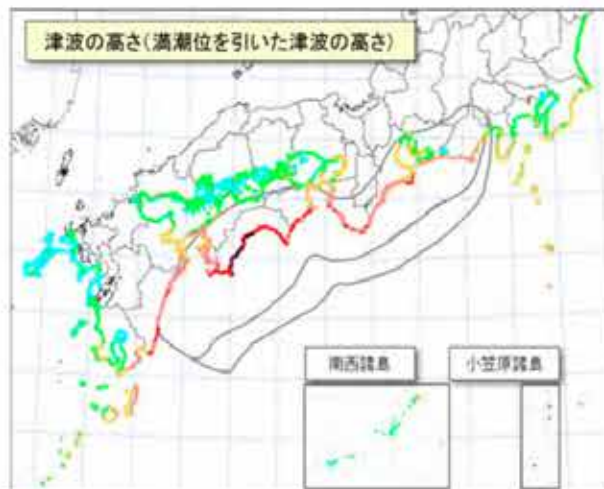
東海地方が大きく被災するケース



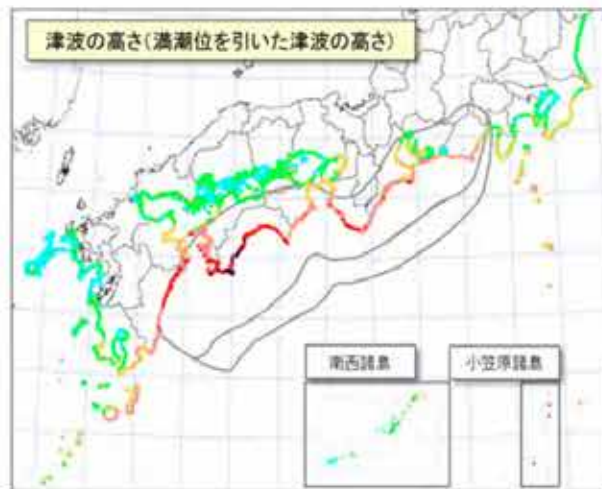
近畿地方が大きく被災するケース



四国地方が大きく被災するケース

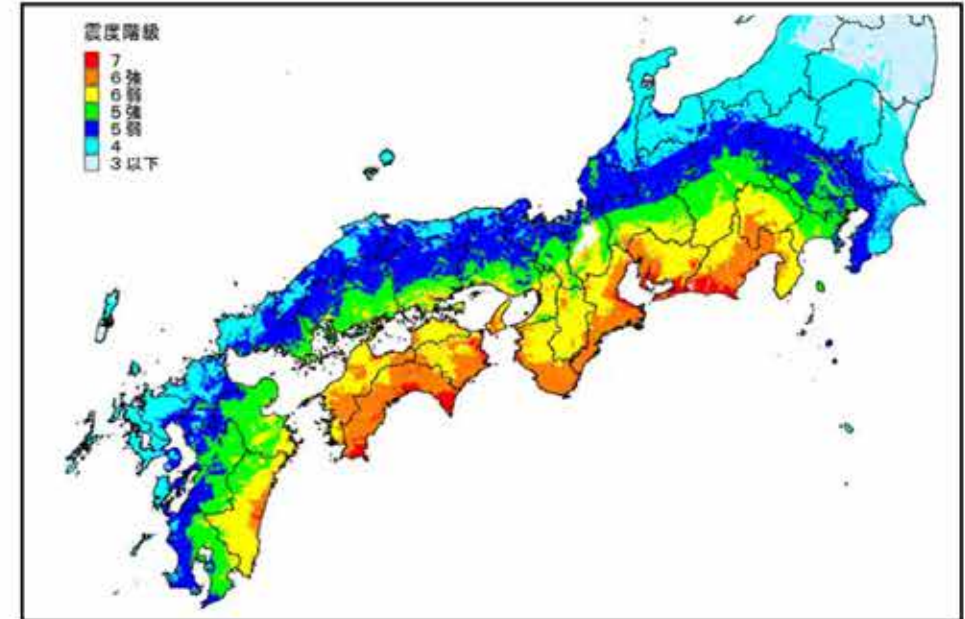


九州地方が大きく被災するケース



●想定される震度分布

複数の想定されるケースの最大値の分布



ここで示した想定される津波高と震度分布は、様々なケースが想定されるうちの一例を示したものです。これより高い津波、大きな震度となる場合もあります。

※本資料は以下を基に作成しました。

「南海トラフの巨大地震による津波高・震度分布等」(内閣府) https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku/pdf/1_1.pdf

気象庁作成

【地震の概要】

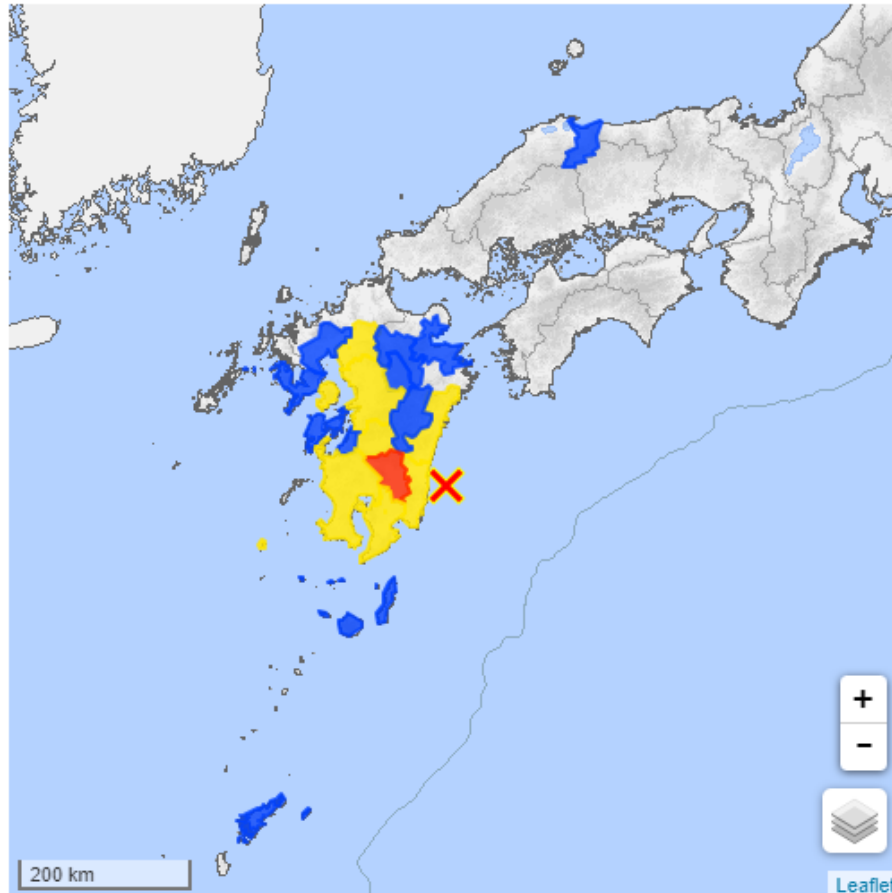
地震検知時刻 2024年08月08日 16時43分ごろ
 震央地名 日向灘
 緯度 北緯31.8度
 経度 東経131.7度
 深さ 深さ 30 km
 マグニチュード 6.9

【長周期地震動階級1以上が観測された地域】

長周期地震動階級3	宮崎県南部山沿い
長周期地震動階級2	福岡県筑後 長崎県島原半島 熊本県熊本 熊本県球磨 宮崎県北部平野部 宮崎県南部平野部 鹿児島県薩摩 鹿児島県大隅
長周期地震動階級1	鳥取県西部 佐賀県南部 長崎県南西部 熊本県阿蘇 熊本県天草・芦北 大分県中部 大分県西部 宮崎県北部山沿い 鹿児島県種子島 鹿児島県屋久島 鹿児島県奄美北部

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができない。はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

長周期地震動階級1以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

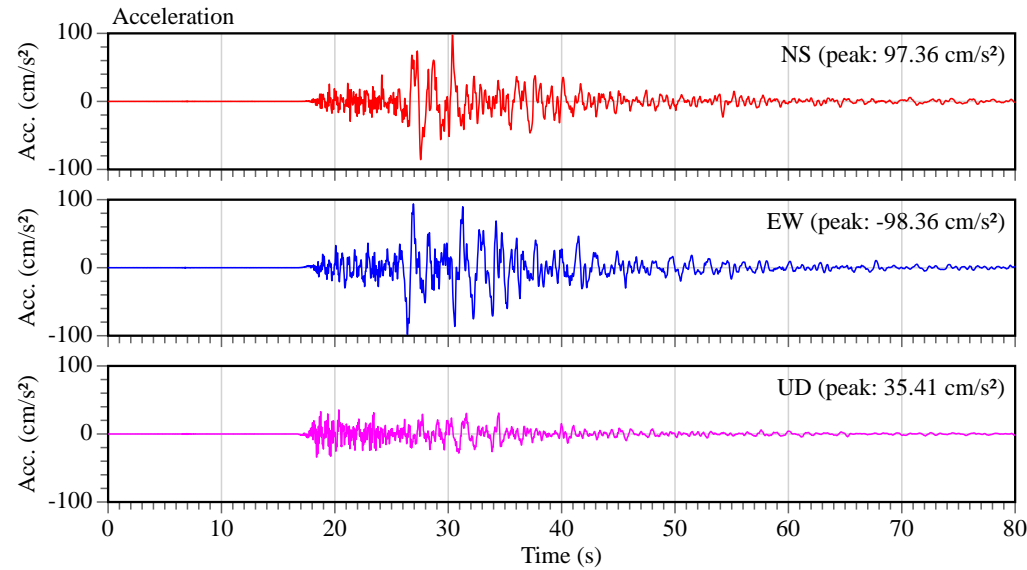
観測点別詳細資料

都道府県 長周期地震動階級

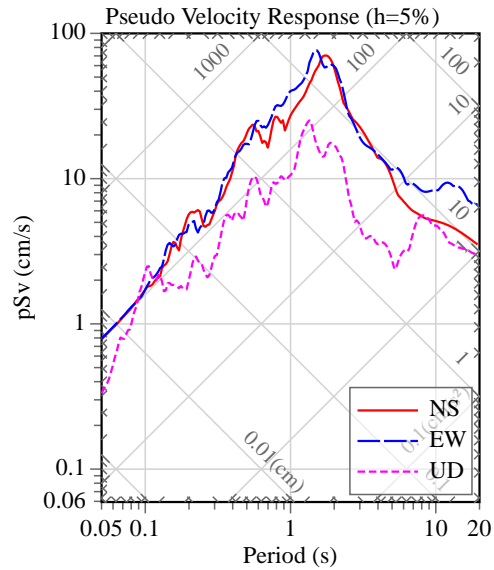
都道府県名	地域名	観測点名	震度	長周期地震動階級
宮崎	宮崎県南部山沿い	都城市苜蒲原	5弱	階級3
福岡	福岡県筑後	久留米市津福本町	3	階級2
長崎	長崎県島原半島	雲仙市国見町	3	階級2
熊本	熊本県熊本	八代市平山新町	4	階級2
熊本	熊本県熊本	熊本西区春日	4	階級2
熊本	熊本県球磨	人吉市西間下町	4	階級2
熊本	熊本県球磨	多良木町多良木	4	階級2
宮崎	宮崎県北部平野部	新富町上富田	5弱	階級2
宮崎	宮崎県南部平野部	宮崎市委島	5弱	階級2
宮崎	宮崎県南部平野部	日南市油津	5強	階級2
宮崎	宮崎県南部平野部	串間市奈留	4	階級2
宮崎	宮崎県南部山沿い	小林市真方	4	階級2
鹿児島	鹿児島県薩摩	鹿児島市東郡元	4	階級2
鹿児島	鹿児島県薩摩	指宿市山川新生町	4	階級2
鹿児島	鹿児島県薩摩	鹿児島空港	4	階級2
鹿児島	鹿児島県大隅	鹿屋市新栄町	5弱	階級2
鹿児島	鹿児島県大隅	志布志市志布志町志布志	4	階級2

都城市菖蒲原

震度5弱
長周期地震動階級3

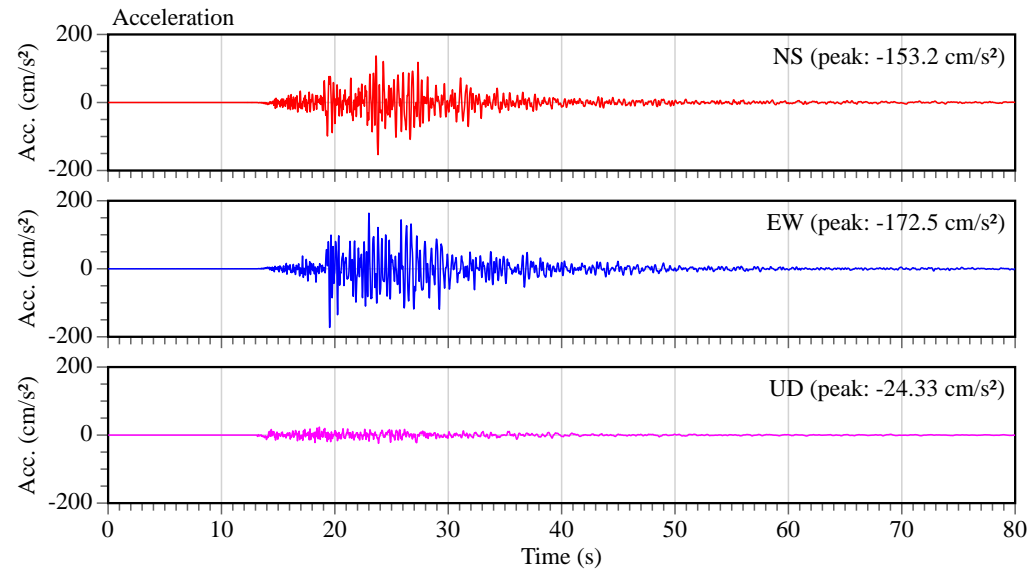


2024/08/08 16:42:50 at : 都城市菖蒲原, Intensity: 4.9

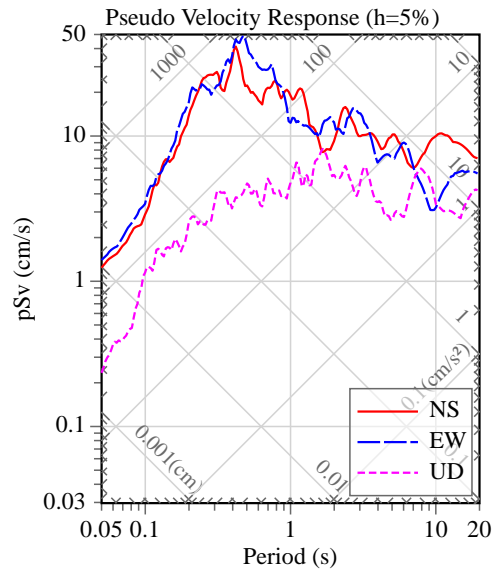


宮崎市霧島

震度5弱
長周期地震動階級2

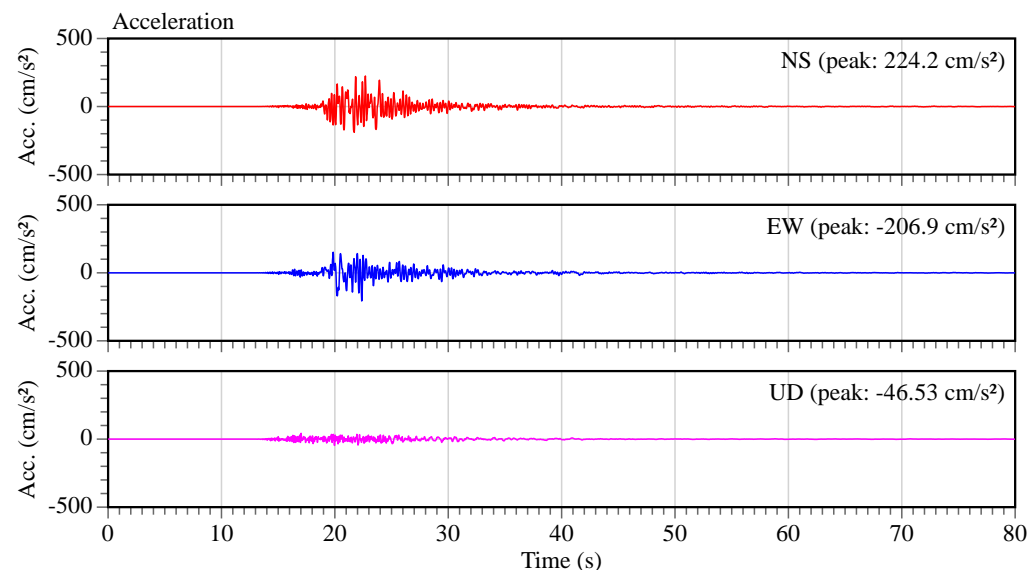


2024/08/08 16:42:50 at : 宮崎市霧島, Intensity: 4.8

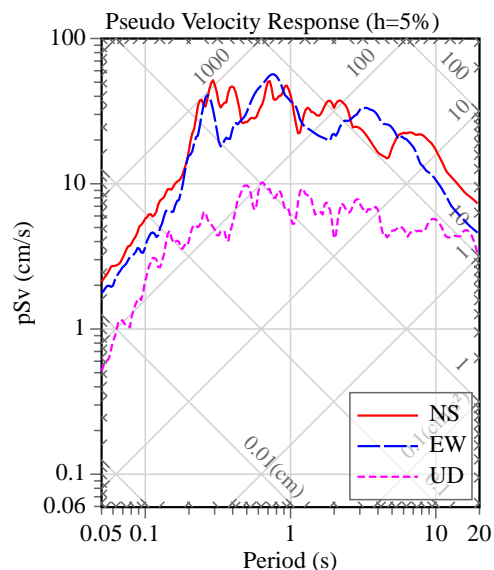


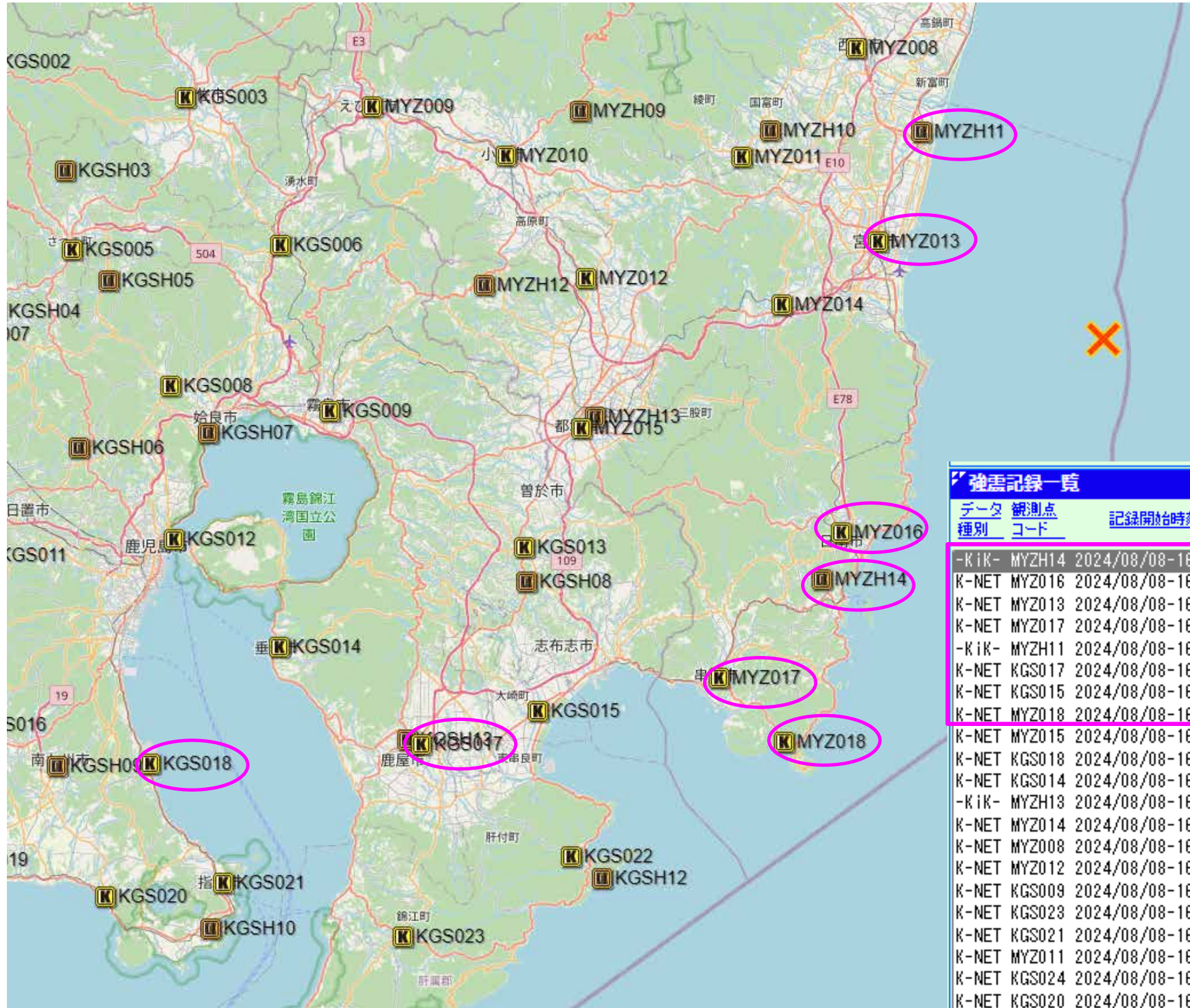
日南市油津

震度5強
長周期地震動階級2



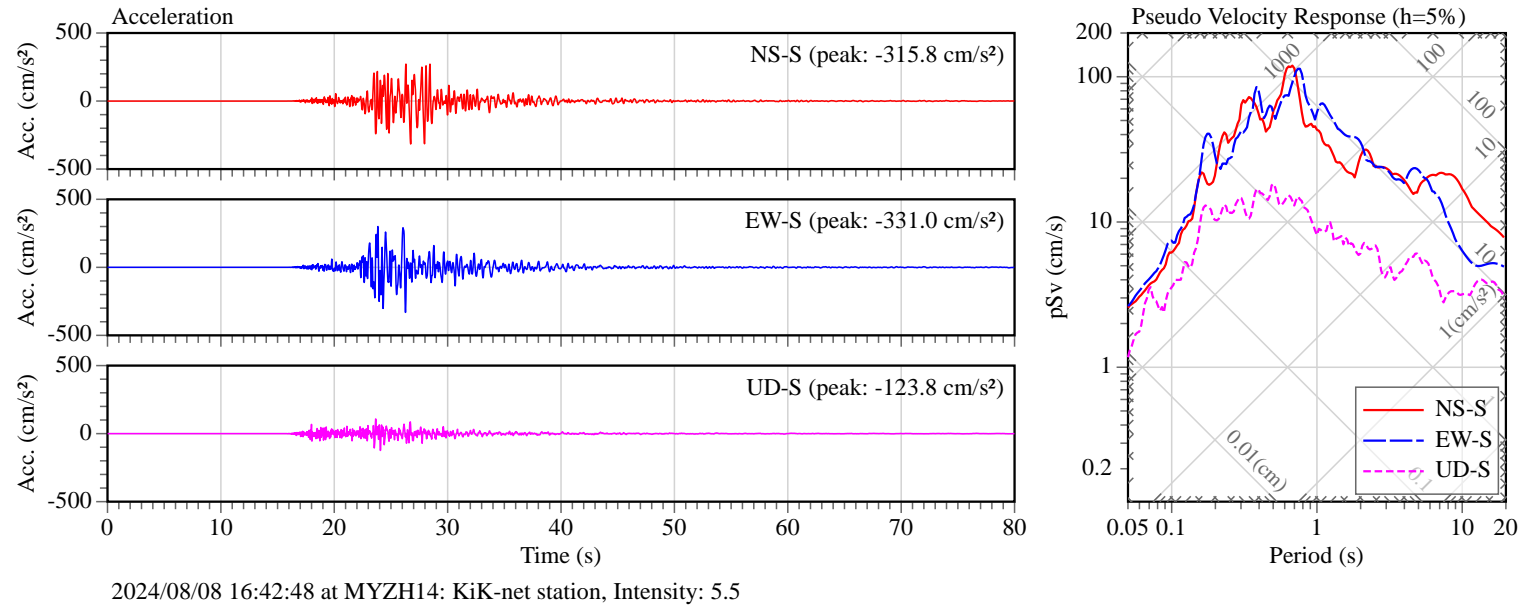
2024/08/08 16:42:50 at : 日南市油津, Intensity: 5.2



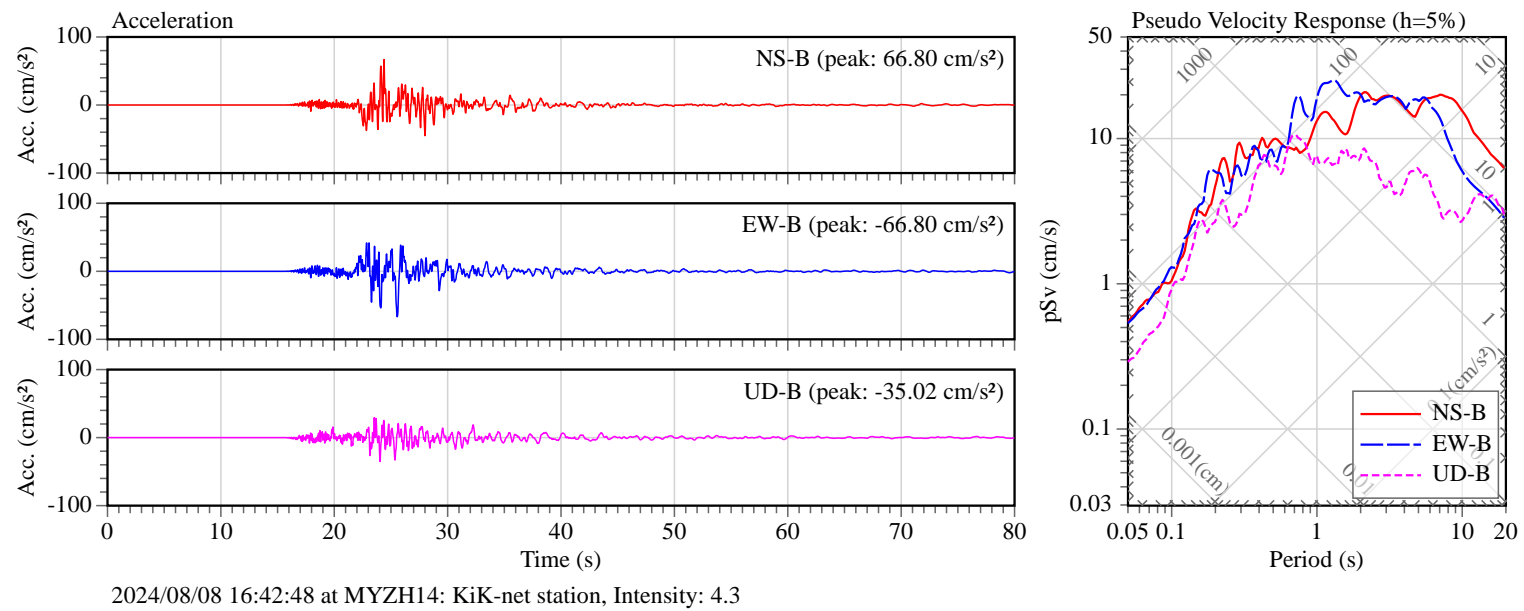


防災科学技術研究所のwebページより
<https://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/quake/>

強震記録一覧								
データ種別	観測点コード	記録開始時刻	観測点北緯	観測点東経	最大加速度	計測震度	震央距離	観測点名
-KiK-	MYZH14	2024/08/08-16:43:03	31.56N	131.35E	0403.3gal	5.5	0042km	日南
K-NET	MYZ016	2024/08/08-16:43:03	31.61N	131.37E	0277.3gal	5.4	0037km	日南
K-NET	MYZ013	2024/08/08-16:43:02	31.91N	131.42E	0250.0gal	5.2	0029km	宮崎
K-NET	MYZ017	2024/08/08-16:43:07	31.46N	131.23E	0237.5gal	5.1	0058km	串間
-KiK-	MYZH11	2024/08/08-16:43:04	32.02N	131.47E	0174.4gal	4.9	0033km	佐土原
K-NET	KGS017	2024/08/08-16:43:11	31.40N	130.87E	0167.4gal	4.9	0091km	鹿屋
K-NET	KGS015	2024/08/08-16:43:09	31.43N	131.01E	0159.3gal	5.0	0077km	大崎
K-NET	MYZ018	2024/08/08-16:43:07	31.40N	131.31E	0152.0gal	4.9	0058km	都井岬
K-NET	MYZ015	2024/08/08-16:43:07	31.72N	131.06E	0151.2gal	5.0	0061km	都城
K-NET	KGS018	2024/08/08-16:43:15	31.38N	130.54E	0139.9gal	4.9	0119km	喜入
K-NET	KGS014	2024/08/08-16:43:13	31.50N	130.70E	0134.4gal	4.8	0101km	垂水
-KiK-	MYZH13	2024/08/08-16:43:07	31.73N	131.08E	0125.7gal	4.9	0059km	都城南
K-NET	MYZ014	2024/08/08-16:43:03	31.85N	131.31E	0118.2gal	4.5	0038km	田野
K-NET	MYZ008	2024/08/08-16:43:05	32.11N	131.39E	0118.1gal	4.2	0045km	西都
K-NET	MYZ012	2024/08/08-16:43:07	31.87N	131.07E	0110.5gal	4.4	0060km	高崎
K-NET	KGS009	2024/08/08-16:43:11	31.74N	130.76E	0108.0gal	4.8	0089km	国分
K-NET	KGS023	2024/08/08-16:43:13	31.20N	130.85E	0105.0gal	4.5	0105km	田代
K-NET	KGS021	2024/08/08-16:43:16	31.25N	130.63E	0097.4gal	4.2	0118km	指宿
K-NET	MYZ011	2024/08/08-16:43:05	32.00N	131.26E	0091.9gal	4.2	0047km	綾
K-NET	KGS024	2024/08/08-16:43:17	31.09N	130.70E	0090.7gal	4.2	0124km	佐多
K-NET	KGS020	2024/08/08-16:43:17	31.24N	130.49E	0086.8gal	4.2	0130km	穎娃
-KiK-	MYZH08	2024/08/08-16:43:05	32.21N	131.53E	0083.7gal	3.9	0049km	川南
-KiK-	MYZH10	2024/08/08-16:43:05	32.02N	131.29E	0076.0gal	4.0	0046km	国富
-KiK-	MYZH15	2024/08/08-16:43:08	32.37N	131.59E	0072.7gal	3.6	0064km	日向

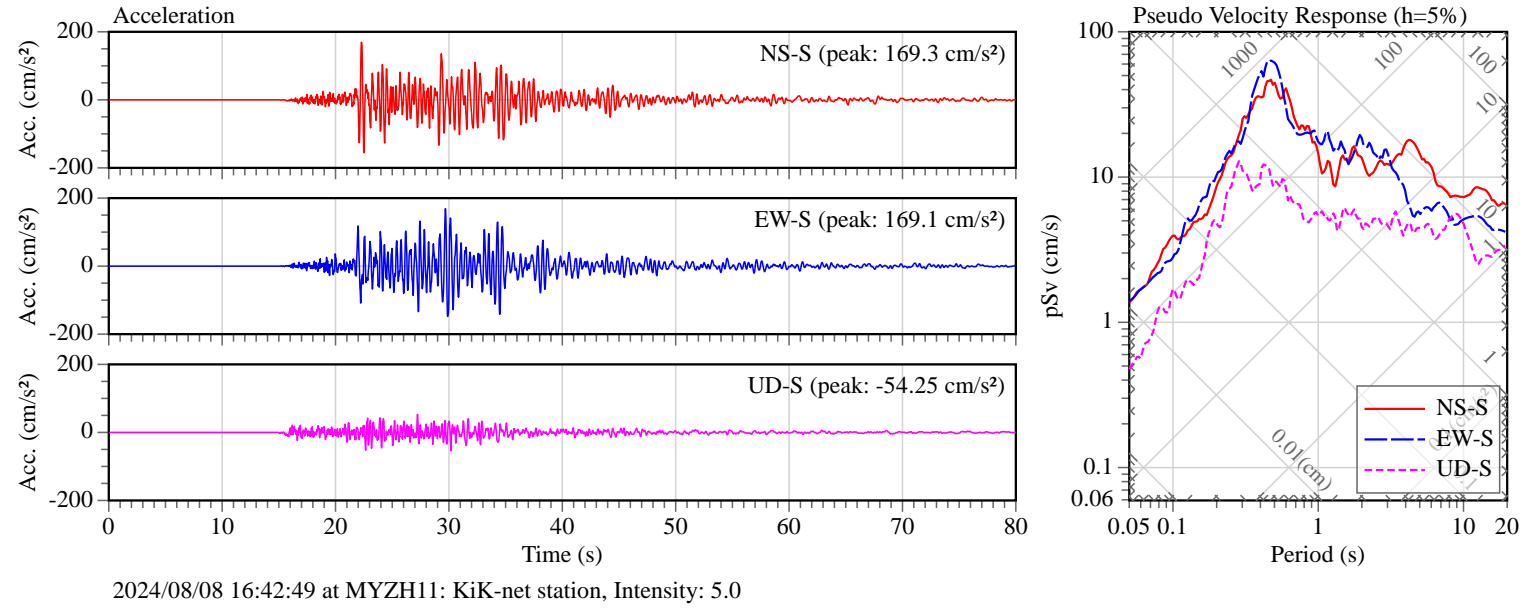


地表

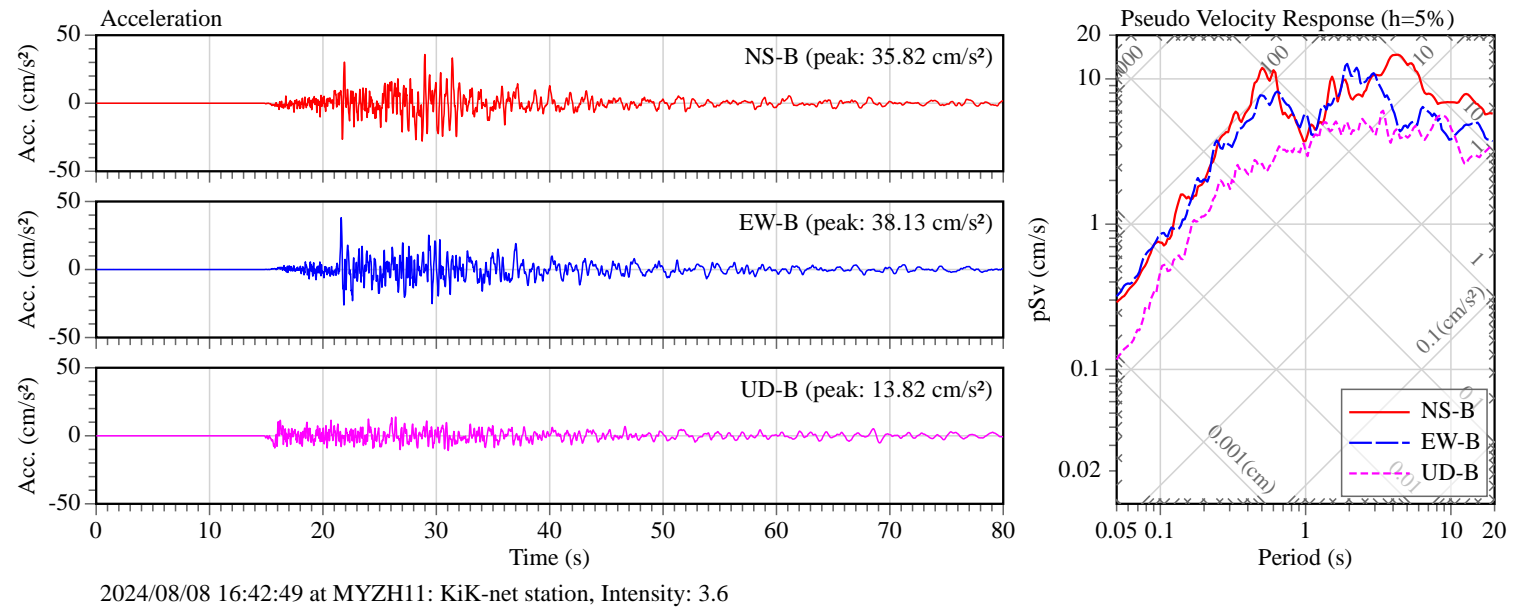


地中

MYZH14 日南(5.5)
震度6弱



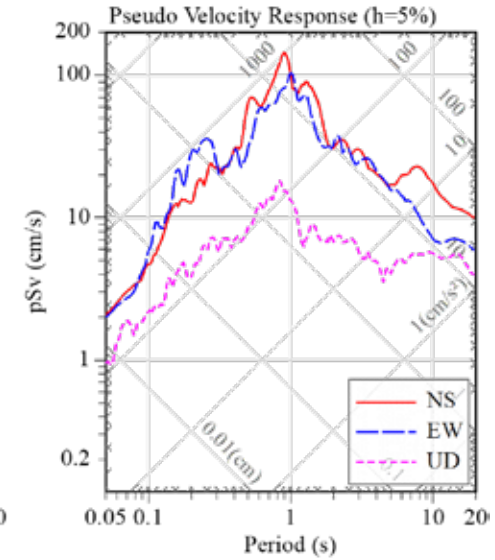
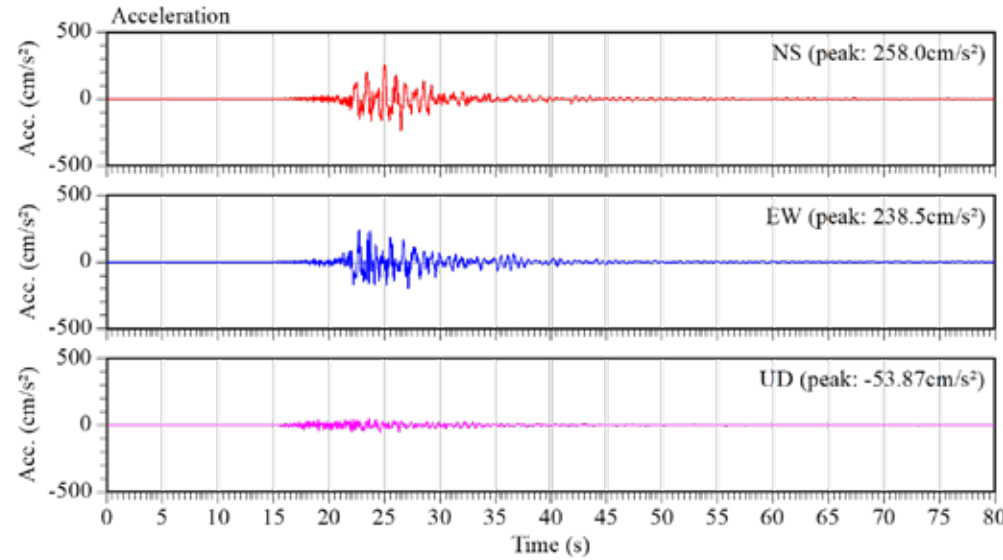
地表



地中

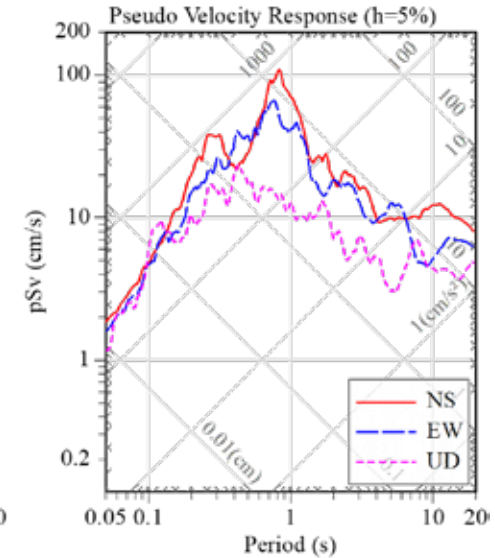
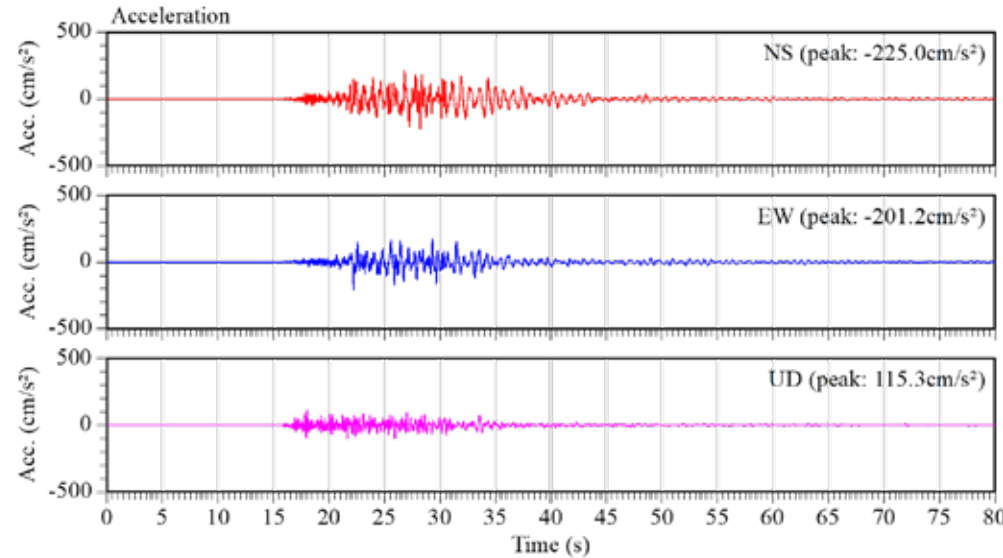
MYZH11 佐土原(5.4)
震度5強

MYZ016 日南(5.4) 震度5強



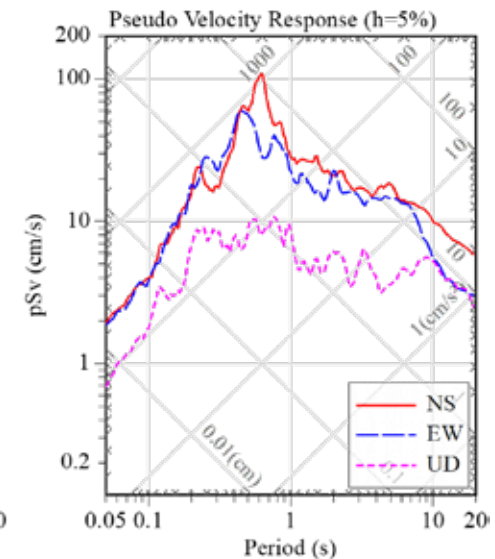
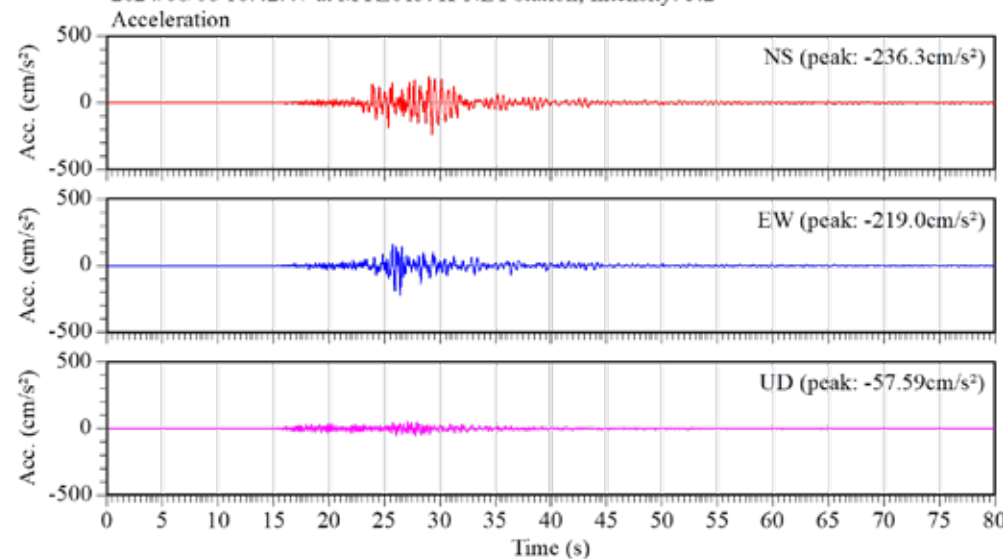
2024/08/08 16:42:48 at MYZ016: K-NET station, Intensity: 5.4

MYZ013 宮崎(5.2) 震度5強



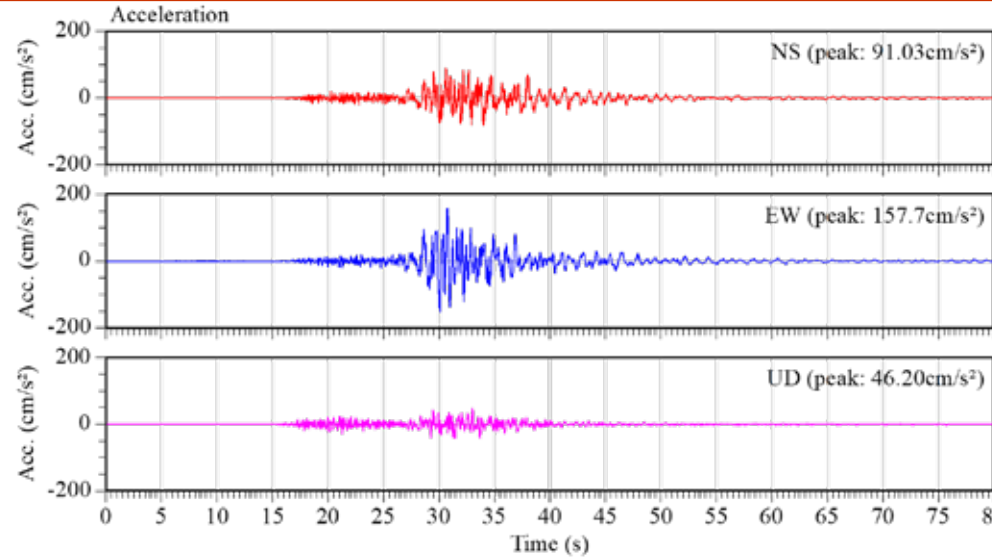
2024/08/08 16:42:47 at MYZ013: K-NET station, Intensity: 5.2

MYZ017 串間(5.1) 震度5強

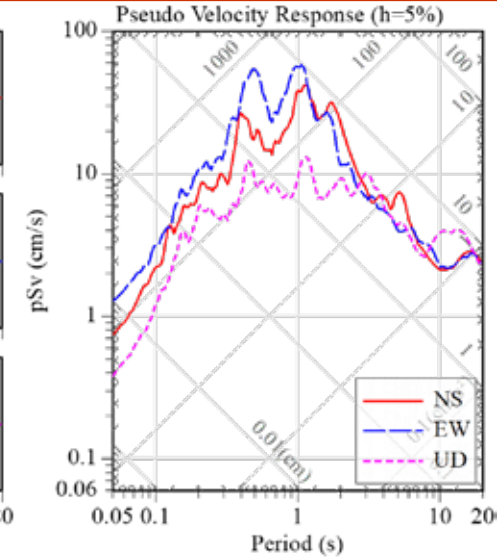


2024/08/08 16:42:52 at MYZ017: K-NET station, Intensity: 5.1

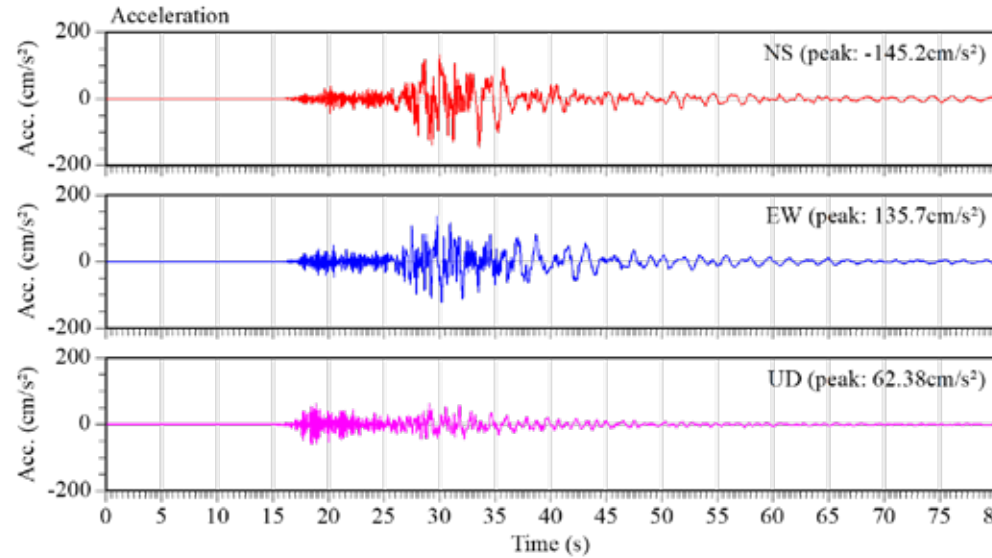
KGS017 鹿屋(4.9)
震度5弱



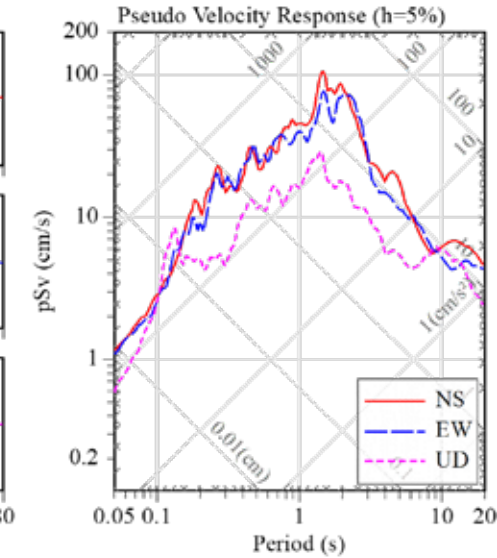
2024/08/08 16:42:56 at KGS017: K-NET station, Intensity: 4.9



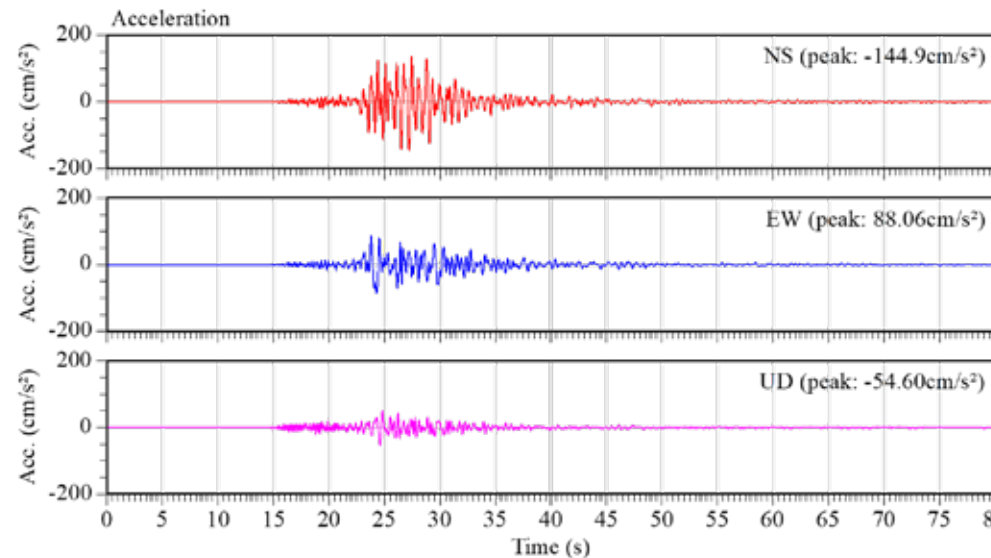
KGS015 大崎(5.0)
震度5強



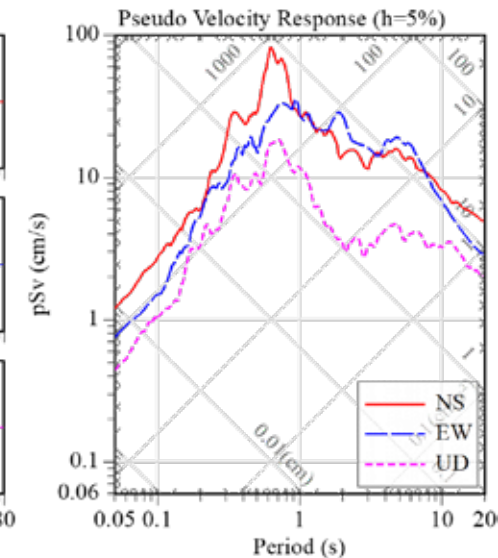
2024/08/08 16:42:54 at KGS015: K-NET station, Intensity: 5.0

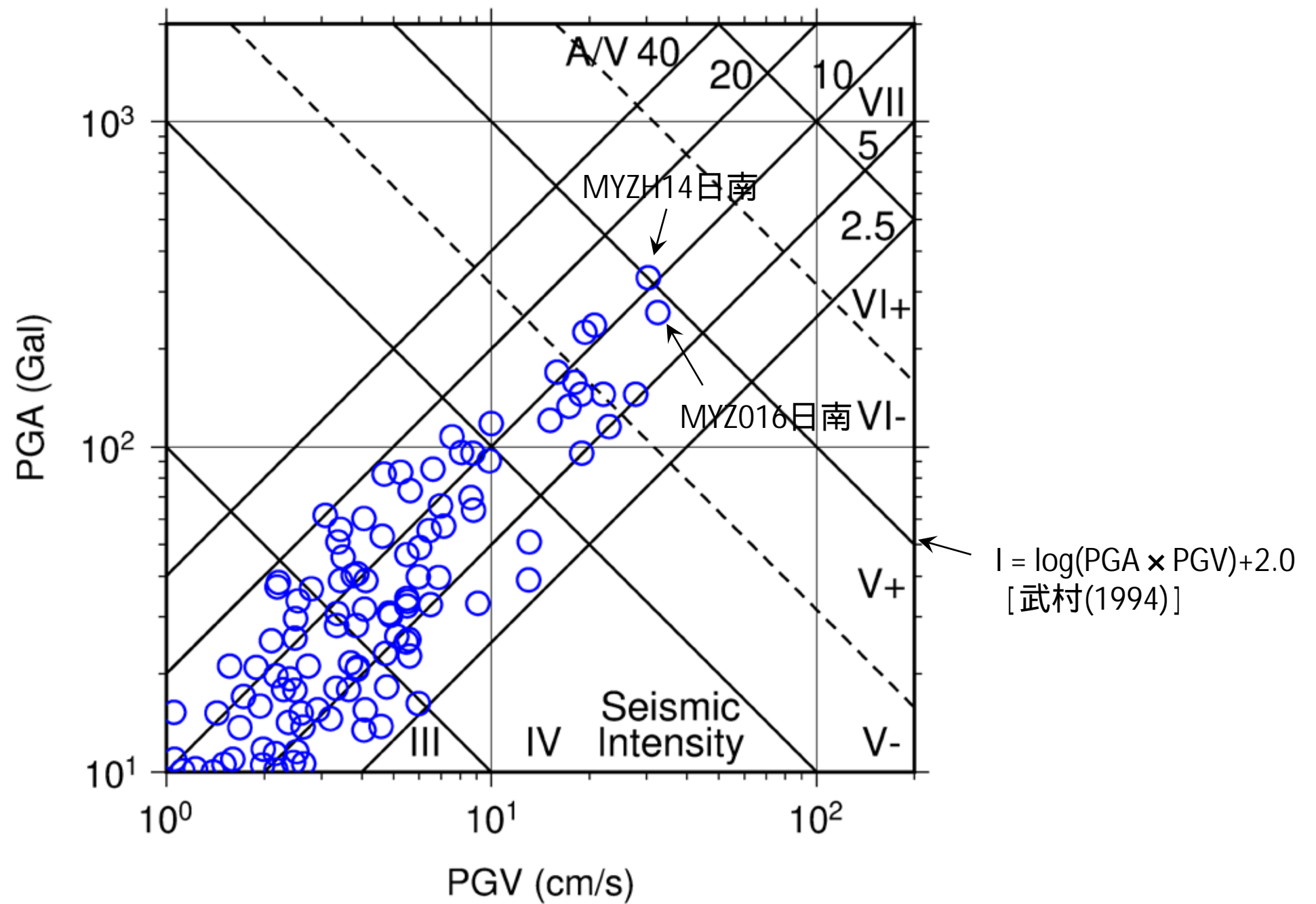


MYZ018 都井岬(4.9)
震度5弱



2024/08/08 16:42:52 at MYZ018: K-NET station, Intensity: 4.9

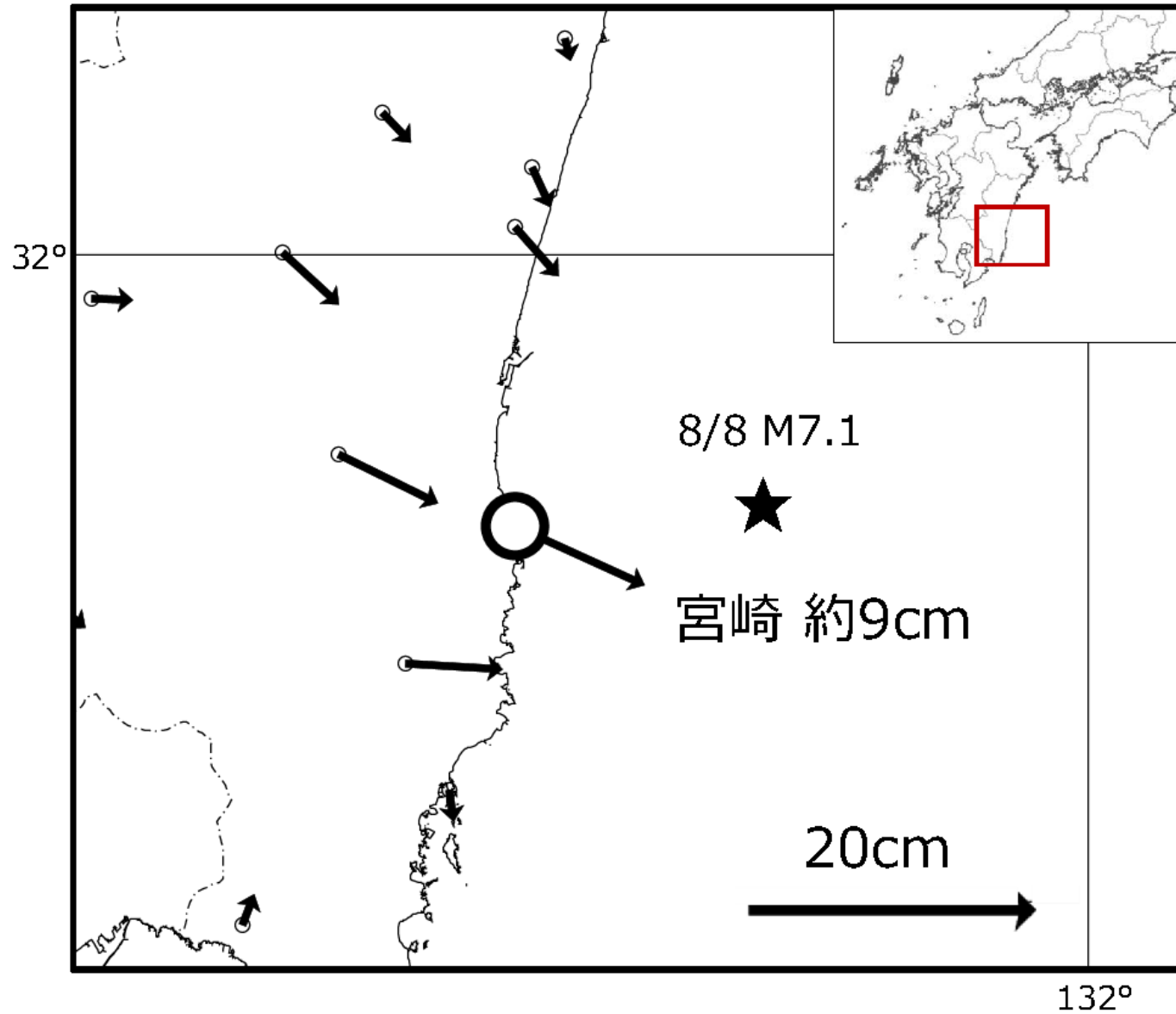




PGAとPGVは、それぞれNSとEWの大きい方

令和6年8月8日16時43分頃の日向灘の地震（M7.1（速報値））前後の観測データ（リアルタイム解析結果）
地殻変動（水平）
この地震に伴い地殻変動が観測された

暫定



宮崎県日向灘を震源とする地震による被害及び 消防機関等の対応状況（第5報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和6年8月9日（金）8時30分
消防庁災害対策本部
※下線部は前回からの主な変更点

1 地震の概要（気象庁情報）

- (1) 発生日時 令和6年8月8日16時43分頃
- (2) 最大震度
震度6弱 宮崎県：日南市
- (3) 津波の状況
《津波注意報》
・令和6年8月8日 16時44分発表 高知県、宮崎県
16時52分発表 大分県、鹿児島県
19時00分解除 高知県、大分県、鹿児島県
22時00分解除 宮崎県

2 被害の状況

(1) 人的被害・住家被害

都道府県	人的被害							住家被害					非住家被害			
	死者		行方不明者	負傷者			合計	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	一部破損	合計	公共建物	その他	合計
	人	人		重傷	軽傷	小計										
熊本県					1	1	1									
宮崎県					5	5	5									
鹿児島県					2	2	2	1				2	3			
合計					8	8	8	1				2	3			

(2) その他の被害（消防本部情報等）

- 【熊本県】 玉名市において、転倒し1人負傷（程度不明）
- 【宮崎県】 日向市において、避難中に意識不明となり1人救急搬送（呼吸あり）
日南市において、避難中に1人負傷（程度不明）
- 【鹿児島県】 鹿屋市において、物が落下し1人負傷（軽傷）
肝付町において、転倒し1人負傷（軽傷）

(3) 火災の発生状況（住家等）

現時点で被害報告なし

(4) 重要施設の被害

- 【鹿児島県】 東串良町、肝付町（石油コンビナート等特別警戒区域内）の危険物施設において、全43基中37基のタンクから少量の漏洩（さらなる漏洩の見込みなし）

3 避難指示の状況

都道府県	警戒レベル5 緊急安全確保					警戒レベル4 避難指示					警戒レベル3 高齢者避難等				
	市	町	村	世帯	人数	市	町	村	世帯	人数	市	町	村	世帯	人数
愛媛県						0	0								
高知県								0			1	2	29,760	59,844	
宮崎県							0								
鹿児島県						1			42	50					
合計						1			42	50	1	2	29,760	59,844	

4 都道府県における災害対策本部の設置状況

- 【東京都】 8月8日 19時15分 災害対策本部 設置
- 【愛知県】 8月8日 17時00分 災害対策本部 設置
- 【三重県】 8月8日 17時00分 災害対策本部 設置
- 【和歌山県】 8月8日 19時15分 災害対策本部 設置
- 【徳島県】 8月8日 19時50分 災害対策本部 設置
- 【高知県】 8月8日 19時15分 災害対策本部 設置
- 【宮崎県】 8月8日 16時43分 災害対策本部 設置

5 地元消防機関の活動等

- 【大分県】 8月8日 17時38分 大分県防災ヘリにより情報収集活動を実施
- 【宮崎県】 8月8日 17時26分 宮崎県防災ヘリにより情報収集活動を実施
- 【鹿児島県】 8月8日 17時52分 鹿児島県防災ヘリにより情報収集活動を実施

6 緊急消防援助隊等の活動等

- 8月8日 16時43分 消防庁から以下の都道府県に対して出動準備を依頼
 - 【統括指揮支援隊】
福岡県（福岡市消防局）
 - 【統合機動部隊】
福岡県、熊本県、大分県、鹿児島県
合計 4県
 - 【航空小隊】
広島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県
大分県、鹿児島県
合計 8県

7 消防庁の対応

- 8月8日 16時43分 消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部を設置（第3次応急体制）
- 16時44分 震度6弱を観測した宮崎県に対し適切な対応及び被害報告について要請
- 17時24分 都道府県に対し気象庁から発表された「南海トラフ臨時情報（調査中）」
（南海トラフの想定震源域及びその周辺で速報的に解析されたM6.8以上の地震が発生）を周知
- 19時31分 南海トラフ地震防災対策推進地域に係る都道府県に対し気象庁から発表された「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会評価結果」を伝達

- 今回の地震は、気象庁によれば日向灘の深さ約30kmで発生したM7.1の西北西 - 東南東方向に圧縮軸を持つ逆断層型で、陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震
- 最大震度は気象庁では6弱を観測(宮崎県の日南市(にちなんし))。東海地方から奄美群島にかけて震度5強～1を観測
- 長周期地震動階級3を宮崎県南部山沿いで観測
- 今回の地震の発生により、気象庁は南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を発表
- 消防庁(8/9,8:30,第5報)によれば、人的被害は軽傷8名、住家被害は全壊1棟、一部破損2棟

気象庁の地震情報、防災科学技術研究所のK-NET/KiK-netの強震記録を用いました。

また、震度マップなどの作図にはGMT(Generic Mapping Tools)ソフトウェア (Wessel and Smith, 1998) を使用しています。波形と応答スペクトルの作図には、国立研究開発法人建築研究所のソフトウェア ViewWaveを使用しています。

ここに記して謝意を表します。